

若者の生きづらさと依存症 ～学校でできるかかわり～

定員：60名
(申込先着順)
参加費 無料

近年、青少年の身近にある依存の問題については、市販薬の乱用、インターネットやゲームの使用など、幅広い分野へと広がっており、その背景には、様々な生活上の困難や生きづらさが隠れていると言われています。

本研修では、青少年をとりまく依存症の知識について理解を深め、学校現場での生きづらさを抱える生徒や保護者への関わりについて、実践報告やグループワークを通じて考えます。

日時

令和7年12月12日（金）午後2時から午後5時まで
(受付は午後1時30分から)

場所

エル・おおさか 大阪府立労働センター 本館5階 視聴覚室
(大阪府中央区北浜東3-14)



会場へのアクセスはこちら

● 講義「若者をとりまく依存症」

講師：大阪府こころの健康総合センター 医師 熊田 裕美

● 実践報告「若者の依存症にどう向き合うか～学校でできるかかわり～」

講師：東奥義塾中学校・高等学校 養護教諭 中村 元気 氏

養護教諭として日々生きづらさを抱える生徒やその保護者への支援にも携わられている中村先生は、令和6年度厚生労働省主催のオンラインシンポジウム「若者に広がるオーバードーズ～実態を理解し、支援方法を探る～」でも登壇され、教育現場での実態や支援の実践例について紹介されています。

生徒への相談対応や、保護者への伝え方、関係機関との連携など、生徒や保護者への具体的な支援方法について、学校の先生方と同じ目線から、事例を交えながら実践的にお話いただきます。



● グループワーク

● 依存症予防啓発ツールの紹介

対象

大阪府内の高等学校、支援学校高等部、高等専修学校、大学等の教職員、保健所職員等

申込

研修案内ページ内にある申込フォームか下記の二次元コードよりお申込みください。

こころのオアシス <http://kokoro-osaka.jp/>

依存症予防教育 → [第2回依存症予防教育教職員向け研修](#)

締切：12月9日（火）午後5時まで

